

平成28年度

予算の概要

桑名広域清掃事業組合

目 次

	頁
1 平成28年度桑名広域清掃事業組合当初予算編成方針	1
2 平成28年度当初予算の概要	3
3 当初予算額（前年度対比）	5
4 事務事業の概要	
（一般会計）	7
（ごみ処理施設整備事業特別会計）	11
5 （資料）	12

平成28年度桑名広域清掃事業組合当初予算編成方針

1 基本方針

平成28年度予算は、安全かつ安定的なごみの中間処理を行うことを最重点目標とするとともに、平成27年9月に策定した「ごみ処理施設整備計画」に基づく施設整備の確実な進捗に努める。

一方で、本組合の構成市町においては、少子高齢化の進展にともなう税収減や社会保障関係経費の増大を背景とした厳しい財政運営が引き続き見込まれる状況から、改めて、組合の全ての費用について点検及び見直しを行い、構成市町の負担抑制に努める。

2 予算編成方針

1 経常的経費の節減

- ・職員一人ひとりが経費節減を念頭に業務の簡素化・効率化を図るとともに、積算根拠や費用の妥当性、有効性を十分に精査して、経費の抑制に努める。
- ・光熱水費等物価変動の影響が見込まれる費用については、安易な予算増とならないよう過去実績や将来見込みを適正に積算して予算配分のムダを防ぐ。
- ・経常的経費については、原則として、前年度予算額を上限とする。

2 施設・設備維持補修の計画的実施等

- ・既存施設及び設備は、整備から12年余が経過し、経年劣化等が進みつつあることから、安全性及び機能性の維持向上を効率的、効果的に図る。
- ・特に、RDF化施設においては、平成32年度をもって操業を停止する計画であることからムダの無い、計画的、効率的な維持保全を進める。
- ・一方で、構成市町の厳しい財政事情を考慮し、費用対効果・必要性・緊急性等の面から十分な検討を加え、優先度を計りながら計画的に実施する。

3 費用・期間の縮減と安全性の確保

- ・施設・設備の改修・修繕については、現状や将来に見込まれる業務体制に沿った発注仕様となるよう十分に精査して、費用の縮減に努める。
- ・予算積算に当たっては、同種工事をまとめるなど各施設（担当）間で協議・調整して、工事経費の重複等を防ぐ。
- ・また、協議・調整に当たってはコストの面だけではなく、場内の安全性や工期の短縮についても十分に留意する。

4 歳入の確保

- ・歳入の見積りについては、国・県補助金等を積極的に活用し、確実な財源確保に努める。
- ・また、資源物売り払い等の自主財源については、他団体等の取り組みの情報収集・研究を行い、積極的な増収を図る。
- ・ごみ処理手数料においては、引き続き、確実な収納に努める。

平成28年度当初予算の概要

一般会計

平成28年度の一般会計予算の総額は、29億1,703万3千円となり、対前年度1億4,256万7千円(4.7%)の減となりました。

(債務負担行為)

新たな可燃ごみ焼却施設と合わせて、リサイクルプラザ及びプラスチック圧縮梱包施設の管理運営を委託するため、業者選定等期間5年間を含めた期間25年、限度額28億1,200万円の債務負担行為を設定します。

(歳入)

「分担金及び負担金」は、22億6,894万円で、対前年度1億7,725万6千円(7.2%)の減となりました。これは、施設管理運営費の見直しと施設建設費等の償還費が大幅に減少したことによるものです。

「使用料及び手数料」は、3億2,313万7千円で、ごみ処理手数料の減により対前年度877万3千円(2.6%)の減となりました。

「県支出金」は、三重ごみ固形燃料発電所と共用する施設の修繕に伴う費用負担の増により、対前年度5,061万8千円(516.1%)と大幅な増となりました。

「財産収入」は、有価資源物売払収入の減により対前年度686万9千円(37.9%)の減となりました。

(歳出)

「総務費」は、2億1,170万4千円で、対前年度2,098万7千円(11.0%)の増となりました。これは、桑名市派遣職員の退職手当負担金や新たな公会計制度に対応するためシステム導入費等の増によるものです。

「施設費」は、21億6,463万4千円で、対前年度2億4,892万4千円(13.0%)の増となりました。これは主に、三重ごみ固形燃料発電所との共用施設である調整池や管理棟等の機能保全対策に伴う改修工事によるものです。

「公債費」は、5億3,894万4千円で対前年度4億1,280万1千円(43.4%)の大幅な減となりました。これは、現行ごみ処理施設の整備事業に伴う借入金の償還が一部完了したためであり、同事業の残りの借入金についても平成29年度で完了する見込みです。また、三重ごみ固形燃料発電所爆発事故に伴う施設復旧の借入金については、県の要請により平成27年度をもって繰上償還を実施します。

(基金)

減債基金は、一般会計の財源対策を図るため2億円を繰出しします。

ごみ処理施設整備事業特別会計

平成28年度のごみ処理施設整備事業特別会計予算の総額は、7,277万3千円となり、対前年度4,969万2千円(40.6%)の減となりました。

(債務負担行為)

新たな可燃ごみ焼却施設の整備とその管理運営を委託するため、業者選定及び施設建設等期間5年間を含めた期間25年、限度額292億3,400万円の債務負担行為を設定します。

(歳入)

「財産収入」は、93万5千円で、対前年度39万1千円(29.5%)の減となりました。これは、金融機関預金利率の低下によるものです。

「繰入金」は、財政調整基金繰入金で、歳出予算の主な財源として繰入れます。

(歳出)

「総務費」は、3,890万9千円で、対前年度348万7千円(9.8%)の増となりました。これは、施設整備事業の冊子印刷費のほか、財産運用収入の増に伴う基金積立金増によるものです。

「事業費」は、3,286万4千円で、対前年度5,317万9千円(61.8%)の減となりました。これは、3カ年事業として実施してきた環境影響評価調査業務が最終年度になり出来高が減少するためです。

(基金)

財政調整基金は、特別会計の一般財源として7,083万7千円を繰出しします。

当初予算額（前年度対比）

一般会計

歳入

（単位：千円、％）

区 分	平成28年度		平成27年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
分担金及び負担金	2,268,940	77.8	2,446,196	80.0	△177,256	△7.2
使用料及び手数料	323,137	11.1	331,910	10.9	△8,773	△2.6
県支出金	60,426	2.1	9,808	0.3	50,618	516.1
財産収入	11,276	0.4	18,145	0.6	△6,869	△37.9
繰入金	200,000	6.8	200,000	6.5	0	-
繰越金	50,000	1.7	50,000	1.6	0	-
諸収入	3,254	0.1	3,541	0.1	△287	△8.1
合計	2,917,033	100	3,059,600	100	△142,567	△4.7

歳出

区 分	平成28年度		平成27年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
議会費	751	0.0	428	0.0	323	75.5
総務費	211,704	7.3	190,717	6.2	20,987	11.0
施設費	2,164,634	74.2	1,915,710	62.6	248,924	13.0
公債費	538,944	18.5	951,745	31.1	△412,801	△43.4
予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0	-
合計	2,917,033	100	3,059,600	100	△142,567	△4.7

ごみ処理施設整備事業特別会計

歳入

(単位：千円、%)

区 分	平成28年度		平成27年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
財産収入	935	1.3	1,326	1.1	△391	△29.5
繰入金	70,837	97.3	91,504	74.7	△20,667	△22.6
繰越金	1,000	1.4	1,000	0.8	0	-
諸収入	1	0.0	1	0.0	0	-
国庫補助金	0	0	28,634	23.4	△28,634	-
合計	72,773	100	122,465	100	△49,692	△40.6

歳出

区 分	平成28年度		平成27年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
総務費	38,909	53.5	35,422	28.9	3,487	9.8
事業費	32,864	45.1	86,043	70.3	△53,179	△61.8
予備費	1,000	1.4	1,000	0.8	0	-
合計	72,773	100	122,465	100	△49,692	△40.6

事務事業の概要（一般会計）

（議会費）

- 1 議員報酬等（443千円）✓
 - ・ 定例会2回、臨時会3回、その他1回の議員報酬（11名）

- 2 議会運営費（267千円）✓
 - ・ 調査旅費等

- 3 一般事務費（41千円）✓
 - ・ 議会交際費
 - ・ 消耗品、印刷製本費等

（総務費 総務管理費）

- 1 非常勤職員報酬等（216千円）✓
 - ・ 弁護士報酬（法律相談）

- 2 一般職給（140,305千円）✓
 - ・ 職員人件費（16名）

- 3 退職手当（57,415千円）✓
 - 組合職員（桑名市派遣職員）の退職手当にかかる費用
 - ・ 退職手当（1名）
 - ・ 市町総合事務組合負担金（4名）
 - ・ 桑名市派遣職員の在職期間にかかる負担金（2名）✓

- 4 交際費（9千円）✓
 - ・ 組合交際費

- 5 会計管理費（8,159千円）✓
 - 組合の会計事務処理費用
 - ・ 新) 新公会計対応資産台帳整備業務委託費
 - ・ 新) 財務会計システム運用費用

- 6 財産管理費（126千円）✓
 - 組合の財産を管理するための費用及び減債基金の積立金
 - ・ 減債基金積立金（利子積立）

7 広報費 (217千円) ✓

- ・ホームページ運営費

8 一般事務費 (4,757千円) ✓

○組合運営に必要な事務経費等

- ・事務費 (消耗品費、通信運搬費、備品購入費等)
- ・公用車 (普通車) 借上等運用費
- ・職員等健康診断費
- ・場内事故にかかる賠償金

9 加入団体負担金 (90千円) ✓

- ・全国都市清掃会議、桑名危険物安全協会等負担金

10 リサイクル推進事業費 (233千円) ✓

○ごみの減量、リサイクルにかかる啓発事業費用

- ・リサイクル家具販売事業等開催費

(総務費 監査委員費)

1 委員報酬 (161千円) ✓

- ・月例12回、決算監査1回の委員報酬 (2名)

2 委員活動費 (6千円) ✓

- ・旅費

3 一般事務費 (10千円) ✓

- ・事務費 (消耗品費、印刷製本費)

(施設費 施設費 ごみ処理施設建設費)

1 基金積立金 (111千円) ✓

- ・ごみ処理施設整備基金積立金 (利子積立)

(施設費 施設費 ごみ処理施設費)

1 可燃ごみ固形燃料化施設費 (1,691,879千円) ✓

○可燃ごみ搬入予定量46,500トンの処理に必要な施設運転、維持管理費用

(1) 施設管理運営費 (1,002,587千円) ✓

- ・消耗品費 (プラント・排水処理薬品費、排ガス分析用品)

- ・乾燥用灯油
- ・電気料金
- ・安全器具、地下タンク点検等手数料
- ・RDF処理業務、施設運転保守管理業務、不燃物運搬処理業務等委託費
- ・伊賀市環境保全負担金

(2) 施設維持補修費 (689, 292千円) ✓

- ・ダイ・ロール等修繕工事の支給材料購入費
- ・乾燥設備、電気計装設備、成型設備等修繕費

2 不燃・粗大ごみ処理施設費 (166, 749千円) ✓

○不燃・粗大ごみ搬入予定量3, 710 tの処理に必要な施設運転、維持管理費用等

(1) 施設管理運営費 (115, 740千円) ✓

- ・ダンプ、ショベルローダー、フォークリフト用燃料費
- ・電気料金
- ・施設車両等修繕費
- ・施設車両車検・性能検査費
- ・危険物等除去処理業務、施設運転保守管理業務、不燃物運搬及び処理業務等委託費
- ・伊賀市環境保全負担金

(2) 施設維持補修費 (51, 009千円) ✓

- ・消耗品費 (グラインダ・ナイフ等修繕工事の支給材料購入費等)
- ・高速回転式破砕機、前処理破砕機、サイクロン等修繕費

3 プラスチック圧縮梱包施設費 (49, 034千円)

○プラスチック (容器包装) ごみ搬入予定量1, 670 tの処理に必要な施設運転、維持管理費用等

(1) 施設管理運営費 (38, 087千円) ✓

- ・施設車両 (ダンプ、ショベルローダー、フォークリフト) 用燃料費
- ・電気料金
- ・施設車両等修繕費
- ・施設車両車検・性能検査費
- ・プラスチック分別等業務、施設運転等管理業務等委託費

(2) 施設維持補修費 (10, 947千円)

- ・消耗品費 (脱臭装置用活性炭、梱包機用刃等)
- ・圧縮梱包設備、破袋設備等修繕費

4 施設一般管理費 (256,861千円)

○資源循環センター全体の共通管理経費等 (計量棟、管理棟、構内設備等)

(1) 施設管理運営費 (44,449千円)✓

- ・消耗品 (衛生用品、電気関係消耗品等)
- ・電気料金
- ・施設賠償責任保険、自動車・建物損害共済保険料
- ・ごみ受入等業務 (計量)、エネルギー管理業務、ばい煙測定等分析、ダイオキシン類測定等分析、場内樹木等整備業務等委託費
- ・公用車 (軽自動車) 借上等運用費

(2) 施設維持補修費 (207,570千円)✓

- ・管理棟中・大会議室音響設備修繕
- ・管理棟等施設改修工事、調整池整備工事、構内照明設備改修工事 (それぞれ設計・監理業務委託費を含む)

※県と共用する施設の改修であるため県負担金あり。(1頁)

(3) 一般事務費 (4,842千円)

- ・臨時補助員人件費 (3名)
- ・職員研修費

県負担金 54,157
調整池 外灯
音響設備
樹木
3-11-17

(公債費 公債費 元金)

1 地方債元金償還費 (517,081千円)

○ 施設用地取得及びごみ処理施設整備に係る地方債元金償還費

- ・RDF化施設等整備関係 (H12~H14) 354,257千円
- ・プラスチック圧縮梱包施設 (H18~H20) 63,453千円
- ・施設用地 (H22) 99,371千円

(公債費 公債費 利子)

1 地方債利子 (21,863千円)

○ 施設用地取得及びごみ処理施設整備に係る地方債利子

- ・RDF化施設等整備関係 (H12~H14) 4,859千円
- ・プラスチック圧縮梱包施設 (H18~H20) 7,399千円
- ・施設用地 (H22) 9,605千円

事務事業の概要（ごみ処理施設整備事業特別会計）

（総務費 総務管理費 一般管理費）

1 一般職給（32,021千円）[△]

- ・職員人件費（4名）[△]

2 退職手当（1,653千円）[△]

○組合職員（桑名市派遣職員）の退職手当にかかる費用

- ・市町総合事務組合負担金（2名）

3 財産管理費（936千円）[△]

○基金の積立金

- ・財政調整基金積立金（利子積立）

4 一般事務費（4,299千円）[△]

- ・専門委員会会議開催費用（委員5名×4回）
- ・事務費（消耗品費、印刷製本費、通信費等）
- ・環境講演会開催費（東員町）
- ・プロジェクター等備品購入費

（事業費 事業費 ごみ処理施設整備事業費）

1 可燃ごみ処理施設整備事業費（32,864千円）[△]

- ・環境影響評価調査業務委託費
- ・環境影響評価に関する住民説明会開催費

(資料)

ごみ種類別搬入量の推移

単位：トン

	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (見込み)
可燃	43,945	45,134	45,948	45,375	46,500
不燃・粗大	4,009	3,931	3,950	3,629	3,710
プラスチック	1,801	1,710	1,690	1,637	1,670
合計	49,755	50,775	51,588	50,641	51,880

※平成27年度の見込み数量は、平成28年1月現在の推計値である。

組合債の年度末残高推移

単位：千円

	平成26年度 (実績)	平成27年度 (見込み)	平成28年度 (見込み)	平成29年度 (見込み)	平成30年度 (見込み)
ごみ処理施設	1,331,681	578,467	224,210	0	0
災害復旧	12,738	0	0	0	0
プラスチック 圧縮梱包施設	554,304	491,833	428,380	363,929	298,465
用地 H374終	1,083,651	985,267	885,896	785,530	684,157
合計	2,982,374	2,055,567	1,538,486	1,149,459	982,622